

明治の新しい国づくり ～富国強兵を目指して～

日時：10月18日（金）第5校時
 学年：第6学年 22名
 指導者：田中 涼子

糸崎小学校で育てようとする資質や能力及び

* は今年度の重点項目

- ①課題発見・解決能力 ②思考力・判断力・表現力 ③コミュニケーション能力
 ④主体性・積極性 ⑤回復力 ⑥協調性・柔軟性 ⑦自らへの自信

1. 単元について

単元観

本単元は、新学習指導要領の第6学年の内容(2)の(ケ)「黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること」を受け設定した。

江戸時代末期、欧米諸国の要請に屈し、開国した日本は、明治の新政府を立ち上げ、「富国強兵」な近代国家をつくり上げていくために様々な改革に取り組む。本単元は「明治政府が目指した富国強兵な国づくりとは？」という単元を貫く学習課題を設定し、その解決に向けて児童が主体的に学習に取り組むことができる単元である。また、新政府の行った政策と「富国強兵」の関連や、政策が人々にもたらした影響の関係を考えることで、多面的な見方や考え方を養うのに効果的な単元である。

児童観

本学級の児童は、社会科の学習に対する意欲が高く、歴史の学習にも関心をもって取り組んでいる。「天下統一と江戸幕府」では、織田信長と豊臣秀吉が天下統一を成し遂げるために行った政策のねらいや内容、その結果を結び付けながら思考することができた。しかし、歴史学習への理解の個人差は大きく、事象同士の関係を捉えられていないことが理解の程度に影響を与えていることが分かった。昨年度より、「質問づくり」を取り入れた学習を行い、問いを見つけ、それに応じた学習内容を考える経験も積んでいる。

また、目的に応じた思考ツールを用いたり、個人思考の時間を十分に確保したりすることで、自分の考えや立場を明確にして話すことができる児童は増えたが、話し合いの中で、自分と友だちの考えを比較したり、関連付けたりしながら思考・表現ができる児童は少ない。

指導の手立て

本単元の指導に当たっては、学習課題について主体的に調べたり考えたりする中で、考えを整理し、話し合いの中で自分の考えを深めることができるように次の3点を工夫して学習活動を展開する。

① 質問づくりを用いた導入と学習計画

導入では、江戸時代と明治時代の日本の様子を対比して分析し、明治政府が目指した「富国強兵」について関心を持たせる。さらに、政策の内容を調べたり、政策同士の関連や関係を多面的に考えたりする学習計画を自分たちで立てさせることでどの児童も主体的に学習に取り組めるようにする。

② 思考ツール（コンセプトマップ、フィッシュボーン、XYチャート等）の活用

児童が、政策同士の関連や関係を多面的に考えながら自分の思考を整理するために、関連付ける、多面的に考える、分類するといった思考スキルを活用するための思考ツールを個人思考や話し合いの場面で使用する。なお、目的に沿って思考できるよう、思考ツールを選んで使用させることとする。

③ グループ活動や話し合いの場の設定

政策の関連やその影響について多面的に思考し、説明したり意見交流したりすることができるように、グループ活動や話し合いの場を設ける。自分の考えと友だちの考えを比較、関連付けできるように、必要に応じて、思考ツールを使用したり、発言の仕方やまとめ方について指導したりする。

2. 単元目標と評価規準

観点	目標 (○内は育成を目指す資質能力の番号)	評価規準
知識 技能	黒船の来航により開国したこと、天皇中心の国づくりを目指す中で江戸幕府が倒れ、明治政府が欧米の進んだ文化を取り入れた近代化を進めたことを理解することができる。①	地図や年表、絵図などの資料をもとに、開国から明治維新への流れ、明治政府の政策などについて調べ、明治の世がどのように近代化を遂げていったのかを理解している。
思考力 判断力 表現力等	岩倉使節団の報告や明治政府の政策との関係や政策同士の関連について多面的に捉え、自分の考えを説明することができる。⑤	明治政府の行った政策が「富国強兵」とどのように関わっていたのか、多面的に考え、自分の考えを説明したり、意見交流したりしている。
学びに 向かう力 人間性等	「富国強兵」を目指した国づくりの政策について、進んで調べたり、自分の意見を友だちに伝えたりしている。①⑤	明治政府の政策について適切な資料を選んで調べ、自分の意見を友達に伝えようとしている。

3. 指導計画とルーブリック (本時7/10)

時	学習活動	ルーブリック		資質	思考スキル (思考ツール)
		S	A		
1	江戸時代と明治時代の人々の様子が分かる資料を比較し、動画を見て「富国強兵」を目指した政策について調べる。◎	A + 類似点や相違点の理由を考えたり、政策について予想したりすることができる。	江戸時代と明治時代の類似点や相違点に気付くことができる。	①	比較する (ベン図)
2	新政府の政策について調べたことをもとに、質問づくりを行い、学習計画を立てる。	A + 質問の優先順位を考え、学習計画を立てることができる。	新政府の政策に関わる質問を考えることができる。	⑤	つなげる (コンセプトマップ)
3	黒船来航の様子が分かる資料を手掛かりに外国との関係や国内の動きに関心を持ち、ペリーが来日した理由を考える。	A + 日本と外国との関係を意識してペリー来日の理由を考えることができる。	黒船来航に興味を持ち、ペリーが来日した理由を考えることができる。	⑤	
4	黒船来航がもたらした影響から、鎖国を終わらせざるを得なかったことについて調べ、開国の様子を知る。◎	A + 歴史的な背景から理由付けて自分の意見を説明することができる。	開国すべきかどうか自分の意見を説明することができる。	⑤	つなげる (コンセプトマップ)
5	政治の失敗や民衆の不満といった背景から、天皇中心の国家をつくる運動が起き、武士の世の中を終わらせたことを知る。	A + 江戸幕府が倒れた理由や経緯を多面的に考え、自分の言葉でまとめることができる。	江戸幕府が倒れた理由や経緯を整理し、自分の言葉でまとめることができる。	⑥	多面的に考える (フィッシュボーン)
6	岩倉使節団の報告書をもとに、欧米諸国と日本の産業や文化との相違を調べ、日本の国づくりに必要な政策を話し合う。◎	A + 自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりする中で考えを深めることができる。	欧米諸国と日本を比較し、相違をまとめ、必要な政策を考えることができる。	① ⑤	比較する (ベン図)
7 本時	新政府が行った政策同士の関連やキーワードをまとめ、新政府が目指した「富国強兵」について考える。	A + 学制などの教育が「富国強兵」にもたらす意味を考えることができる。	新政府が行った政策と「富国強兵」を結びつけて、政策の意図や関連を考えることができる。	①	関連付ける (コンセプトマップ) 分類する (XYチャート) 等
8	絵図などの資料を活用して、明治の世の中について調べ、文明開化によって人々の生活や意識の変化について考える。	A + 人々の変化と新政府の政策や近代化の流れを結び付けて考えることができる。	資料から人々や町の様子の変化について考えることができる。	①	
9	富岡製糸場の設立をはじめとする「殖産興業」に関わる政策について調べ、明治政府が近代化を進めた過程を理解する。	A + 富岡製糸場では女性が多く働いていることに気づき、徴兵令等と関連付けて男女の役割の違いを理解することができる。	「殖産興業」を目指し、機械制工業等が推進され、近代化が進んだことを理解することができる。	①	順序 (囲みと矢印)
10	明治維新について学習を振り返り、幕末から明治にかけて世の中を大きく変えた人物を選び、より深く調べてまとめ、紹介する。	A + 功績や特徴、他の人物との関わり等、関係図や文章で表現することができる。	幕末から明治維新にかけて活躍した人物の功績や特徴をまとめ、選んだ理由を説明することができる。	② ⑤	多面的に見る (フィッシュボーン)

指導者 田中 涼子

三原市立系崎小学校 六年 一組

社会科「明治の新しい国づくり」

第七時

授業構成図

本時のねらい

新政府が行った政策と「富国強兵」を結びつけながら政策の意図や関連を考えることができる。
 (考えを説明したり、話し合ったりして考えを深めることができる◎)
 (人間関係形成・社会形成能力★)

目指す子どもの姿

S A+学制などの教育が「富国強兵」にもたらす意味を考えることができる。
 A 新政府が行った政策と「富国強兵」を結びつけて、政策の意図や関連を考えることができる。

引き出したい具体的な表現

S 教育、学ぶことが軍事力や経済力を高めることにつながる教育が国の力になる 等
 A 殖産興業、地租改正→富国強兵令、身分制の廃止→強兵 等

深い学びの視点

- ① 既有知識を関連付けて考え、一階層上の知識を得る。
- ② 獲得した知識を汎用的に活用する。
- ③ 学習の目的を、より高い目的に価値づける。

見通しや実行方法を発想する場面

⑤ 自力解決をする。

T 政策を付箋に書き出して、整理してみよう。使いたいツールを使いましょう。
 C 関連づけて考えるからコンセプトマップにするよ。

C 富国強兵にどのように関わる政策なのかを関連付けたり、分類したりして整理する。

⑥ 集団解決をする。◎

T グループで考えを共有しましょう。似た考え、同じ考えの人は関連付けて発表するといいいですね。

C 富国というのは豊かな国という意味だから、殖産興業でたくさん工場をつくったのは、豊かな国につながっていると思う。

C 地租改正も安定した税収が得られるから富国に関連している。

C 徴兵令はもちろん強兵だね。

C ほかに強兵につながるものはないのかな。

⑦ 全体で交流する。★

C このグループでは、殖産興業や地租改正が富国につながっているという考えが出ました。どちらもお金を増やすことにつながるからです。経済力をつけるということですか。

C ここでは、徴兵令が強兵につながっているという意見が出たけれど、強兵は徴兵令だけなのかと議論になりました。他のグループの人はどうですか。

C 身分制の廃止は戦力の向上につながるかな?

C 学制はどうなんだろう?

T 学制は富国でも強兵でもないのかな?

C 関係ないんじゃない?

C でも賢くないとお金も稼げないし、戦いにも勝てないんじゃない?

T 「富国強兵」に教育は必要なのかな?

C 教育は必要。教育は富国にとっても強兵にとっても大事だと思います。賢くないと経済力も軍事力も上がらないと思うからです。

⑧ 本時のまとめをする。

T 「富国強兵」の中で教育にはどんな意味があるか考えよう。

C 「富国強兵」の言葉の中にはないけど、賢くなると経済力が上がるし、教育はとても大切なものと思われていたから、学制ができたんだと思いました。

⑨ 学習の振り返りをする。

C 対象と既存の知識とを関連づけて、対象が生じる原因を類推

課題を見出す場面

① 既習事項を確認する。

T 岩倉使節団の報告書の内容から、政府の政策を考えたね。

C 鎖国している間に欧米諸国との格差が大きくなった。

T その問題を解決する政策を考え、実行したんだね。

C 「富国強兵」を目指しているんな政策をしていたね。

T みんなが調べた政策と「富国強兵」はどう関わっているのかな?

② 学習課題を立てる。

C 本当に関わっているのか? T 調べてみよう。

学習課題

新政府の政策と「富国強兵」の関連やキーワードをまとめ、新政府が目指した「富国強兵」について考える。

③ 解決方法の見通しをもつ。

T それぞれが調べたことをどうやって共有する?
 C 何人かで話し合うといい。
 ◆さまざまな政策を調べた児童を組み合わせてグループ分けする。

④ ルーブリックを設定する。

T 政策同士の間連やキーワードを考えられたらAだね。Sはどうする?
 C 「富国強兵」を自分の言葉でまとめる。
 T 「富国強兵」を目指した国づくりがどんなものだったのかをよく考えて自分の言葉でまとめられるといいね。

対象と既存の知識との「ズレ」を認識

思考スキル「関連付ける」
↓
思考ツール「コンセプトマップ」



5. 思考ツール

